

お祝いメッセージ

50号発刊にあたり、元の編集部、編集委員会の先輩方よりメッセージを頂戴しました。

「ちゅーりっぷの風」50号 いままで携わって下さった編集部員の方々の努力でここまで続けられたことに感謝したいと思います。

2004年（平成16年）に民生委員に委嘱され早21年。高齢者・障害者委員会、編集委員会、子育て支援委員と3ヶ所に所属させてもらい、編集委員会は私にとっては未知の世界でした。パソコンもできないのでついでゆくのが精一杯でした。



新聞をつくるという作業が大変で、苦しくもあり、楽しくもあり、できあがった時の感激はひとしおでした。その後のご苦労さん会も楽しみの一つでした。

私も「ちゅーりっぷの風」には、人物往来、子育てサロン・おひさまルーム、桜島探訪、100周年記念大会のコーラス、永年勤続等々載せさせていただきありがとうございました。

新聞を読み返して見ると、その時のでき事が思い浮かび懐かしく時代の流れに驚きます。

写真も例外ではなく、パソコンに携帯に保存することができる時代。私は60歳の時に0歳～現在迄のアルバムを4冊にまとめました。それをいつも眺めながら思い出し楽しんでいきます。

余談ですが、今年12月11日で75歳。11日早く生まれていたら今年で終了だったんですけど(笑) あと3年間頑張ります。

桜島 清瀬 浩子

民生レター「ちゅーりっぷの風」50号記念おめでとうございます。

2003年1月付創刊号より数年間、当時の編集部の一人として参加させていただきました。表題の「ちゅーりっぷの風」には、区花のチューリップと民生委員・児童委員の皆様の各地域における活躍の紹介、又個人的な趣味、研修会等の紙面でお互いに顔を知り、つながりを深め、心を通わせて、区内に温かで爽やかな風を届けるとの思いからでした。編集部の皆様は毎回の発行に向け、原稿依頼から紙面づくり、校正、仕上がりまで、ご苦労が多くあったと思います。本当にありがとうございます。多くの人が毎回楽しみに読んでおられます。



特に2年半続くコロナ禍で、地域における課題が今迄以上に多岐に渡っています。個人の相談はもちろん、高齢者支援・子育て支援と行政との連携を密にして、地域福祉の充実を更につとめて行く事が要求されています。

これからも多くの皆様がつながり、「ちゅーりっぷの風」と共に、地域に知恵と勇気と希望を送り届けていただきますよう、心より期待しております。

高見 今田 幸子